

中 岳



熊本市歯科医師会会誌

第 83 号

平成5年度臨時総会開催

第1回親睦ゴルフ大会

第1回新入会員オリエンテーション開催

目 次

巻 頭 言	関 剛 一	1
平成5年度熊本市歯科医師会臨時総会		2
代議員会開催		3
「会員の証」完成		5
第1回熊本市歯科医師会親睦ゴルフ大会	奥 田 洋 実	6
在宅寝たきり者歯科保健推進事業研修会	関 剛 一	8
第14回ビデオ研修会	菊 川 明 彦	9
委員会だより		
会務総合検討臨時委員会		10
口腔衛生委員会		11
「長寿の里」を訪問して	与 儀 実 彦	13
勉強部屋		
「遊離端欠損を回避するためのオプションとその選択」	永 田 省 蔵	14
本 日 休 診		
「ゴルフに夢中」	小 田 和 人	17
「出場順番60番！藤崎八幡宮秋季例大祭」	清 村 正 弥	20
一 枚 の 写 真		22
つ ど い		
東部2支部旅行	上 原 凡 由	24
ひ と り ご と		
「寝たきり老人訪問診療に思う」	岩 村 泰 行	25
「この頃思うこと」パートⅡ	遠 山 啓 介	27
「私の医院の思いがけない新人」	永 野 忠	30
スポーツの広場		32
熊本市歯科医師会総会資料		33
会 務 報 告		38
編 集 後 記		

新たな自覚と誇りを

会の花としての「会員の證」

専務理事 関 剛 一



現在、毎月愛読している月刊誌の一つに「月刊さつき研究」「趣味の園芸」がある。いづれもさつき盆栽、山野草、観葉植物、洋ラン等々土に根づき、四季折々に花を咲かせ自分の医療人としての頭、身体を休ませてくれる。

特にさつき盆栽歴は25年程になり樹形と開花を楽しみ、一年中その管理をたやす事が出来ない。さつき盆栽の歴史は古く、品種改良されて現在では2,000種の品種があるといわれている。それぞれに「我こそはこの世で一番美しい色、姿をしているぞ」と言わんばかりに独自の花を咲かせる。

又、毎年100鉢ほどさし木で苗木を作り2～3年程培養し、開花時には好きな人に自由に持って帰ってもらっている。ところで数ある品種のそれぞれの花は型も色もさまざまであり美しい。開花はそれぞれに一定の時期に自分なりの方法で存在を世の中にアピールし、樹勢を謳歌し、蜜蜂を集め子孫を繁栄させるのに一生懸命である。

さまざまの植物には蕾をふくらませ、独自の花を開花させるがまさしく責任と誇りを持って開花している様に思えてならない。

本会では数年前から計画していました「会員の證」を作製した。これは熊本市歯科医師会の花であり、各診療所の花です。その證を見るたびに、日本歯科医師会会員手帳の第一ページの「歯科医師として、その責任と誇りを」の一行を胸に焼きつけて欲しい。そして熊本市歯科医師会の一員としての新たな自覚と誇りをもって活動して下さい。どうか受付近くにご掲示下さいます様お願い申し上げます。

平成5年度

熊本市歯科医師会

臨時総会開催

平成5年度社団法人熊本市歯科医師会臨時総会が10月13日（水）午後7時30分より熊本県歯科医師会会館3階ホールにて行われたのでここに報告致します。



会長のあいさつ



日頃の会務への協力ありがとうございます。
今回は臨時総会を開き1～8号議案という重要な議案を討議してもらいたい。将来に向けて地域に根ざした歯科保健医療を積み重ねていけば明るい展望が開けてくると思っている。

1. 開会 菅原 洋 常務理事
2. 議長選出 林 正之 先生
3. 物故会員に対する黙祷
4. 会長挨拶 中根 俊吾 会長
5. 議事録署名人選出
中川 順一 先生
奥田 良樹 先生
6. 会務報告 関 剛一 専務理事
7. 庶務報告 菅原 洋 常務理事
8. 会計現況報告 杉野陽二郎 常務理事
9. 監査報告 山室 紀雄 監事
10. 代議員議長審議経過報告
田中 宏 先生
11. 議事
 - 1) 平成4年度熊本市歯科医師会（一般会計）
歳入歳出決算の承認を求むる件 承認
 - 2) 平成4年度熊本市歯科医師会（収益事業
会計）歳入歳出決算の承認を求むる件承認
 - 3) 平成4年度熊本市歯科医師会共済会計歳

- 入歳出決算の承認を求むる件 承認
- 4) 平成4年度熊本市歯科医師会退職積立金
会計歳入歳出決算の承認を求むる件 承認
- 5) 平成4年度熊本市歯科医師会基本財産積
立金会計歳入歳出決算の承認を求むる件 承認
- 6) 平成4年度熊本市歯科医師会入会金会計
決算の承認を求むる件 承認
- 7) 平成4年度熊本市在宅歯科保健推進事業
（別途会計）歳入歳出決算の承認を求むる
件 承認
- 8) 本会会費未納者の取り扱いに関する件
この議案は会費未納者がいた為提案され
たもので討議の結果、定款に抵触するとい
う理由で全会一致をもって退会処分を承認
しました。

12. 協議

13. 閉会

鈴木 勝志 副会長

平成5年度

熊本市歯科医師会代議員会開催

1号から8号議案まで全て承認 協議に多くの意見が提出

平成5年9月29日（水）午後7時30分、県・歯科医師会館2階会議室にて代議員全員出席のもと開催された。

点呼、開会、会長挨拶について議長に田中宏先生、副議長に宇治道孝先生を選出、議事録署名人には斉藤健、合沢康生の両先生が選出され、各報告にうつった。議事の第1号～第8号議案まで全て承認され、協議にうつると一変して活発な意見がかわされた。多々の意見が討論され、午後9時すぎ鈴木副会長の閉会の挨拶で終了となった。



1. 点 呼 菅原 洋 常務理事

2. 開 会

3. 会長挨拶 中根 俊吾 会長

4. 議長及び副議長選出

田中 宏 先生

宇治 道孝 先生

5. 議事録署名人選出 斉藤 健 先生

合沢 康生 先生

6. 報 告

1) 会務報告 関 剛一 専務理事

2) 庶務報告 菅原 洋 常務理事

3) 会計現況報告 杉野陽二郎 常務理事

4) 監査報告 山室 紀雄 監事

7. 議 事

第1号議案 平成4年度熊本市歯科医師会（一般会計）歳入歳出決算の承認を求むる件

第2号議案 平成4年度熊本市歯科医師会（収益事業会計）歳入歳出決算の承認を求むる件

第3号議案 平成4年度熊本市歯科医師会共済会計歳入歳出決算の承認を求むる件

第4号議案 平成4年度熊本市歯科医師会退職積立金会計歳入歳出決算の承認を求むる件

第5号議案 平成4年度熊本市歯科医師会基本財産積立金会計決算の承認を
求むる件

第6号議案 平成4年度熊本市歯科医師会入
会金会計決算の承認を求むる件

第7号議案 平成4年度在宅歯科保健推進事
業（別途会計）歳入歳出決算書
監査報告

8. 協議の主な事項

1) 支部長の新規開業における印鑑に関連し
て、次に開業する新入会員をどうにか規制
できないか。

むずかしい問題なので慎重に考えたい。

2) 弔慰金の件について

50万円は安くないか。

他の会よりも高いので、これで十分では
ないか。

3) 今年から実施された無料検診の対外PR
について

来年はもっとPRを充実したい。

4) 会館建設の問題

いろんな形の提案や意見がでていますが、
結論がまだ出てなく、注意深く見守らな
く
てはならない。

5) 一般料金表を新しく作ってみたら。

必要との要望があれば検討する。



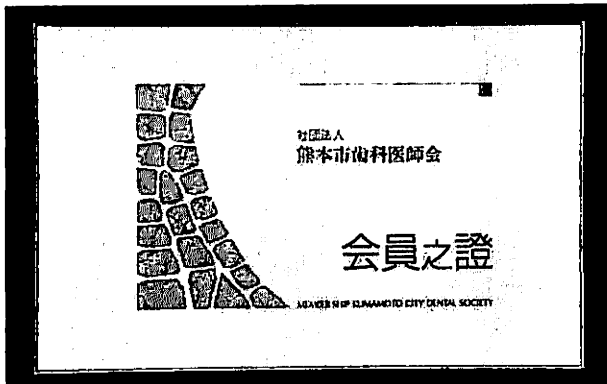
総会資料は、33ページに掲載し
ております。御参照下さい。

熊本市歯科医師会会員のシンボル

『会員の証』 完成

このたび、熊本市歯科医師会では「会員の証」を作製致しました。会員一人一人の精神的、経済的安定につながるという主旨のもと、現在ますます増えつつある非会員との明確なる区別をするという目的で作られたものであります。受付横に置くか掛るかして使用して下さい。

これを機に今までより一層、熊本市歯科医師会員としての自覚をもっていただきたいと思います。



デザイナーの言葉

私がデザインを依頼され念頭に置くのは、Simple is Best. それと自分が好きかどうかです。今回は「会員の証」という熊本市歯科医師会の顔に値するので、かなり緊張しました。憧れと目標を持てる様なそしてカッコ良いもの…と思い1回目のプレゼンテーション、私にとっては好きな作品でしたが、熊本の特徴を出して…という事で、銀杏、熊本城 etc をモチーフに2回目のプレテ、そして今回のデザインにしました。

今日、私たちが携わっているヴィジュアルデザインはあらゆる形をもって、一般生活の中へ様々なスタイルを作り出しています。今回のデザインが会のイメージ創りに意義深いものであることを願いお礼のことばにさせていただきます。ありがとうございました。

株式会社 7x11 代表取締役 吉良 克彦

第1回 熊本市歯科医師会

親睦ゴルフ大会



9月12日（日）、すがすがしい秋晴れの中、熊本市歯科医師会親睦ゴルフ大会が、城南ゴルフ倶楽部において開催されました。

今回が初めての企画ということでしたが、62名の参加を得て、中根会長の挨拶、斉藤修身先生の競技説明ののち、out（西）、in（南）に分かれ、和気あいあいとした雰囲気の中、熱戦が繰り広げられました。

競技終了後に成績発表、及び表彰が行なわれ、下記の結果と成りました。

今回のゴルフはダブルペリア方式でスコアが算出されましたが、参加された先生方のグロス は、なかなかのハイレベルで、62人中70台が4人、80台が25人、90台が20人、又、ハーフ30台は9人と言う状況でした。

ハンディがあまり付かず、くやしがる先生もおられましたが、次の機会（？）まで修行を積んで入賞をめざして下さい。

又、当日はスコア集計に時間がかかり、成績発表が遅れ、御迷惑をおかけ致しました。心よりおわび申し上げます。

数多くの御参加まことにありがとうございました。

団体（支部対抗）戦

優勝	東部 3	(72.64)
2位	東部 4	(73.10)
3位	西部	(74.50)

個人戦		西	南	計	HC	NET
優勝	千場 正昭	50	45	95	26.4	68.6
2位	井尾 治雄	46	46	92	21.6	70.4
3位	有吉 洋	41	38	79	8.4	70.6
4位	古賀 明	46	44	90	19.2	70.8
5位	片山 幹夫	42	39	81	9.6	71.4
6位	小田 和人	43	38	81	9.6	71.4
7位	奈良 健一	43	50	93	21.6	71.4
8位	森尾謙二郎	39	47	86	14.4	71.6
9位	山室 紀雄	43	42	85	13.2	71.8
10位	河野 哲郎	41	43	84	12.0	72.0

会長賞（12位）		西	南	計	HC	NET
	本田 亘	46	43	89	16.8	72.2

BB賞		西	南	計	HC	NET
	矢毛石 豊	63	58	121	30.0	91.0

特別賞		西	南	計	HC	NET
	松本 謙一	47	54	101	25.2	75.8
	三隅 房邦	49	45	94	16.8	77.2
	宇治 寿康	46	41	87	12.0	75.0

ニアピン賞 (アウトとインのスタート別)

松本 眞典 (西㈬3)	松本 光示 (西㈬3)
斉藤 健 (西㈬7)	尾上 宏 (西㈬7)
三笠 司 (南㈬4)	太田 憲生 (南㈬4)
松本 眞典 (南㈬7)	斉藤 修身 (南㈬7)

(厚生委員 奥田洋実)

プレー、表彰式でのワンショット



完璧なダウンスイング！
このあとどうなったのでしょうか



カラオケ大会じゃなかとよ



こーらよかもんもろたパイ



今日は良かゴルフ日和



さわやかな顔をしたゴルファー達



見よ！これがプロの腕前

平成5年

熊本市在宅寝たきり者 歯科保健推進事業研修会

本事業の協力医（136名）を対象とした平成5年度研修会を7月30日（金）県歯会館3Fホールに於て行った。

訪問歯科検診・診療事業も熊本市の委託事業として発足しはや3年が経過しましたが、問題点を残しつつも事故もなく推移しております。これも熊本市をはじめとして協力医の皆様及びスタッフ、衛生士会及び主任歯科衛生士の熊本市民の寝たきり者に対する保健・医療・福祉の連携のもと暖かいご支援の賜と深く感謝申し上げます。



1) 平成4年度実績報告

すでに「中岳82号」で報告致しましたが、171名の申し込み数があり検診・治療及び指導迄訪問回数は1058回を数えました。中でも熊本市歯科医師会の事業の特色として非常に積極的に補綴処置を中心として歯髄処置から外科処置まで取り組んでいるという事です。そのためのA・D・L状況に於ても食生活を中心とした向上が大であります。

2) 症例検討

本田主任D・Hによりスライドを交えながらの症例検討があった。特に寝たきり者の診療

後の「笑顔」。寝たきり者が笑顔を取りもどし、家庭内が明るく、口臭が消え、精神的安定など日常生活の向上こそ本事業の最上の目的である。



3) ケア実施要領

特に寝たきり者には検診、診療、指導を実施した後に訪問が中断すると、口腔内状況は又以前に逆もどりする傾向が大である。そこで本年度より衛生士会の協力により訪問看護、指導を中心としてケア活動を実施することになった。これは本事業に従事する数名の衛生士と協力医の間でパート雇用契約を結び、衛生士は協力医の指示のもと週2回を限度として訪問看護指導を行うというシステムです。是非協力医には診療後の訪問看護、指導を専任歯科衛生士におまかせ願いたいと思う。

4) 社保説明

在宅患者訪問看護・指導料（寝たきり者400点、寝たきり老人420点）、在宅患者訪問看護指導計画書、在宅訪問看護・指導記録書について説明を行った。

最後に現在の本事業の注意点、問題点を検討し研修会を終了した。

（専務理事 関 剛一）

第14回 ビデオ研修会

「開業医にできる顎関節症への対応」及び社保説明会

学術解説 添 島 正 和
社保解説 本 田 亘

去る平成5年9月17日(金)PM7:30より歯科医師会館3Fホールにて第14回ビデオ研修会が上記の表題にて行われた。今回は日頃その対応に苦慮することが多い顎関節症がテーマということで70名以上の方が出席され会員の関心の高さがうかがわれた。



70余名を集め、顎関節症に対する関心の高さを示した会場

資料として使われたのは日大歯学部五十嵐孝義教授の「顎関節症治療の実際 バイトプ

レーンの調整法」のビデオ。

ビデオではエルコプレスをを用いたレジ盛上げ法によるオハイオ大学型のスタビライゼーションタイプのバイトプレーンの調整法が紹介された。

添島先生は外観からだけではとらえにくい下顎全体の変位の状況を視覚としてとらえることができるようにコンピューターグラフィックで3次元表示するシステム、ナソグラフィーを導入されている。これに用いられる計測装置はSAMのMP I (マンディブラ・ポジショニング・インジケータ、下顎位計測装置) システム。このシステムはまた下顎位の三次元的な比較を咬合器上で行える。このことにより単にスタビライゼーションタイプのバイトプレーンのみならず、リポジショニングタイプのバイト・プレーンも三次元的なズレを考慮に入れながら製作することが容易となる。

実際の患者さんにこのMP I システムを使用した実例をあげながら、歯科治療が原因の顎関節症を引き起こさないためにも、Cr、In 1本でも今の顎位が正しいかどうかを常に考慮して製作しなければならないと強調された。

また講演のなかでは顎位の低位のために気道が閉塞気味となり、そのために現在話題になっている無呼吸症候群が引き起こされている場合もあるのではと、ちょっと変わった視点からの問題定義がなされた。



コンピューターグラフィックを使い3次的表示し、顎関節症の診断・治療内容を説明する添島先生

(学術委員 菊川明彦)

委員会だより

会務総合検討臨時委員会

新入会員35名を対象に 会員の義務と権利を自覚

第1回 新入会員オリエンテーション

平成5年8月27日（金）午後7時より熊本県歯科医師会館3Fホールに於いて、第1回新入会員オリエンテーションが開催された。熊本市歯科医師会初めてのオリエンテーションは、平成2年以後に新規開業された35名の先生方を対象として、熊本市歯科医師会役員との座談会形式で行なわれた。



新入会員35名を集め、緊張感をなくすため座談会形式で行う。

「オリエンテーションを和気あいあいの中で進行したい」と関専務理事の司会で始まり、開会の辞を中根会長が述べられた。会長は「当オリエンテーションの主旨と目的は、新入会員の先生方が熊本市歯科医師会の機構や各委員会の活動状況を深く理解し、会員としての権利と義務を肝に銘じ、会員としての自覚と誇りを持っていただくことにあります」と挨拶された。

次に関専務理事より会員の権利と義務について、さらに歯科医師会の組織と機構について解説があった。つづいて共済制度について菅原常

務理事より解説があり、代診制度について強調された。

さらに各委員会の紹介が行なわれ、各委員合理事より会務報告や事業計画案等の説明があった。

そのあと中根会長が対外事業の重要性について説明され「地域に根づいた歯科保健推進事業を行うことにより歯科医療を市民に広くアピールし、その結果、歯科医療に対する市民の信頼と評価も向上し、ひいては会員一人一人の精神的、経済的安定につながるのでは是非頑張りたい」と述べられた。さらに「歯科医師会のメリットは会員一人一人の歯科医師会に対する関わり方によって違って来るもの」と強調された。同じく歯科医師会のメリットについては、閉会の辞で鈴木副会長からも「歯科医師会のメリットは会員の先生方の考え次第なので歯科医師会行事に進んで参加し互いに協力する



歯科医師会のメリットは、会員の会への関わり方によってちがうことを強調する中根会長

ことにより、歯科医師会のメリットを増大させることができる」と述べられた。

オリエンテーションはなごやかな雰囲気の中で約2時間続けられ、新入会員の先生方にとって熊本市歯科医師会を知る上で非常に意義深く、大変貴重なものとなりえたことでしょう。今回、第1回目ということもあり新入会員の先生方はかなり消極的な面もあったようですが、もっと積極的に参加し協力することにより歯科医師会

に対するメリットを見い出すこともできるし、歯科医師会を盛り上げていくことにもつながるのではないのでしょうか。これを機に今後も新入会員の先生方が、熊本市歯科医師会を理解し、共に歩んでいただくための絶好のチャンスのかたちとして当オリエンテーションが設けられることを期待します。

(広報委員 木村 洋)

口腔衛生委員会

〔1〕 歯科医の説明不足を実感

歯科相談コーナーで287件の相談
平成5年度熊本市健康フェスティバル



平成5年度、熊本市健康フェスティバルが10月23日(土)・24日(日)の両日、熊本市総合体育館・青年会館において開催されました。

本年度は「これからの健康・21世紀に向かって」というテーマで、相談、展示、検査など約40の興味あるコーナーが設けられました。

23日(土)午前9時より、同会館前にて開会式が始まり、田尻熊本市長をはじめ、来賓の方の紹介、挨拶の後、テープカットが行われ、10時より開場となりました。開会式前より、多数の来場者があり、開場と同時にどのコーナーも盛況となりました。

歯科相談コーナーには両日合わせて287件の相談をうけました。相談および検診の後、歯科衛生士による刷牙指導を行いました。歯科相談では、技術的な不満よりも、治療のあり方、すな

わち、忙しさにかまけて説明不足のまま治療したり、治療後のメンテナンス不足など、人間味を問われる相談があいかわらず多いようでした。刷牙指導を希望されてこられる方も多く、歯科衛生士による説明を熱心に聞いておられました。

また、今年是在宅ケアコーナーが設けられ、矢毛石理事が訪問歯科診療の説明、相談にあたり、益々この制度が世間に浸透していくことと思われまふ。歯科以外のコーナーもとても充実しており、興味あるものばかりで、我々も時間があれば見て回り、勉強になることが多く、とても有意義な2日間でありました。

(口腔衛生委員 笹原慎一郎)

〔2〕健康教室講座にて講演

「口腔癌とインプラント」の演題で

平成5年9月22日(水)熊本市医師会ヘルスケアセンター主催の健康教室講座が産業文化会館にて開催されました。

本講座は今年で第17回を迎え、9月2日から10月29日までの間、全15回にわたり開かれるもので、今回は歯科をテーマにした講座に、口腔衛生委員会より与儀、笹原の2名の委員が講師として出席しました。講座は午後2時から4時までの2時間行われ、約100名の受講者の出席がありました。

まず与儀委員より「口腔癌とインプラント」という演題で講演が始まり、スライドを使って口腔・顔面領域の癌の症例を紹介されました。またインプラントについては名前も知らない方



与儀、笹原両委員の説明で行われた講演会場

がほとんどでした。あわせて、在宅寝たきり者歯科保健推進事業についても説明をおこない、増々広く浸透していくことと思います。また、笹原委員より「健康づくりは噛むことから」というテーマで、噛むことの大切さ、8020運動について講演しました。受講者の多くは60歳以上の方で、みなさん熱心にメモをとったり、興味深く聞いておられました。ほとんどの方が知識にくわしく、講演後、多数の質問が寄せられました。

(口腔衛生委員 与儀実彦、笹原慎一郎)



講演後に8020運動やインプラントの質問に答える両委員

「長寿の里」を訪問して

特に、これからの超高齢社会の到来に備えて、「いきいきとした市民福祉都市」を目指し、高齢者の自立・社会参加の促進や在宅介護の支援、健康づくり、学習・交流をテーマとした「長寿の里」建設構想を進めておりますが、この先駆施設として「熊本市長寿の里デイサービスセンター」が建設されました。私たち中根会長をはじめとする約20名は、平成5年9月25日（土）にその「長寿の里」へ施設訪問し見学してきました。

この「長寿の里」には寝たきりや車椅子の方の入浴サービスや機能向上を図るための日常生活動作訓練設備などがあります。

利用対象者は、おおむね65歳以上の方で、身体が虚弱又は寝たきり等のために日常生活を営むのに支障がある方となっております。

歯科診療所の方は、歯科医師迫雅裕先生と、D.H. 2名で頑張っております。

チェアーは1台で、主に体の不自由な老人の方の治療を行っておりますが、一般の人も治療に来られるそうです。

先生方も一度見学に行かれてはどうでしょうか。



中根会長をはじめ20名の会員が
歯科室の訪問見学を行う。

熊本市の西部に位置し、悠久な白川の流れに沿い緑豊かな金峰山を間近かに望み、季節ごとの花や草木で彩りをそえ、高齢者の方々が心休まる憩いの時を過ごせる環境にあります。



65才以上の身体の
不自由な人を対象
として治療を行う
D・H

(与儀実彦)

勉強部屋



遊離端欠損を回避するためのオプションとその選択

学術委員 永田省蔵

補綴処置において、歯列最後方歯の喪失による遊離端欠損は固定性ブリッジで対応しても力学的安定性に欠け、更に欠損歯数が増加すれば、もはや固定性補綴法では対処できず可撤性義歯がその役目を荷うことになる。

しかしながら、いずれにせよ、補綴物の安定性、回復度といった要件は術後経過において満足されないことも多く、更なる欠損の拡大をも招く事態もありうる。ということから、出来得る限り最後方歯の保存に努め、遊離端欠損を回避できる方策を考慮すべきである。

今回、種々のオプションを利用することで歯列後方部での咬合支持の確保、歯列としての安定化が計れたと思われる症例を提示する。

〈症例1〉 歯周外科処置による臨床歯冠長の確保（図1～5）



図1

図2

本症例では、 $\overline{6}$ は歯根に及ぶカリエスにより抜去。 $\overline{7}$ は歯冠部が埋伏の状態であったため、歯冠周囲の骨整形を伴うフラップ手術を行うことで必要な臨床歯冠を得た。 $\overline{5}$ $\overline{6}$ $\overline{7}$ の固定性ブリッジで補綴し、左側臼歯部の咬合支持を確保できた。同時に支台歯周囲の歯周環境の改善も計れた。



図3

図4



図5

〈症例2〉 上顎埋伏智歯の小矯正による挺出（図6～9）

右上顎最後臼歯 $\overline{7}$ がカリエスにより、保存不可能な状況であるため、抜歯。埋伏智歯 $\overline{8}$ に対してエレクトロサージェリーを用い、歯冠上部の歯肉の開窓を行い、矯正的に挺出を行った。

⑧⑥⑤をブリッジにて修復。



図6



図7



図8



図9

〈症例3〉 矯正処置による傾斜歯の整直、移動(図10~14)



図10



図11

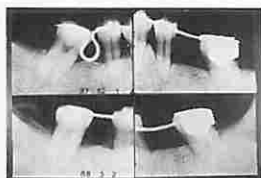


図12



図13

ことが可能になり、周囲環境の改善という面でも効果をえた。なお、歯牙移動の動的期間は3ヶ月。

月。



図14

〈症例4〉 上顎智歯を欠損部へ自家歯牙移植。(図15~18)

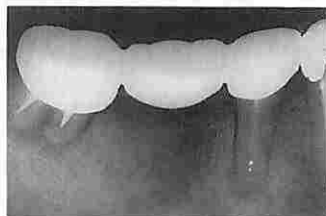


図15

7はエンドペリオ病変と思われる根尖部に及ぶX線透過像を呈し、動揺度はⅢ度、歯根は短小という条件であり、保存不可能と判定。7を抜歯の後、抜歯窩を整形、8を自家移植し、⑧⑥⑤のブリッジによる修復で右側大臼歯部の新たな咬合支持が回復できた。



図16



図17



図18

〈まとめ〉

以上、遊離端欠損を回避するためのオプションを提示した。

日常臨床において、定型的な治療方法では最

後臼歯を確保できないケースでも、前述した歯周外科処置、矯正、更には自家歯牙移植などのオプションを駆使することにより、遊離端欠損を中間欠損に変換することが可能となり、補綴物あるいは歯列としての安定性、予知性の向

上を計ることへの考慮が大切である。また、インプラント補綴法は種々のオプションで対処できない場合に、より有効的に使用されるものであると考えている。



〈ちょっと BREAK〉 パート I

お歯黒は虫歯予防だった!?

鉄漿（かね）で歯を黒く染めるお歯黒は、江戸時代では女の身だしなみとして毎朝髪を結うこととともに行われましたが、実は虫歯の予防になったということです。

お歯黒は、古鉄くずを焼いて濃い茶の中に入れ、粥、酒、飴などを加えて発酵させ、さらに歯へのつきを良くするため〈ふしの粉〉を加えて作ります。主成分は酢酸第一鉄で、それがタンニン酸と結合して空気で酸化すると、タンニン酸第二鉄の黒い色素を生じます。お歯黒は歯のほうろう質の上に鉄分の膜をかけることになります。これが酸化を防ぐ役割があり、結果的には虫歯を予防することになったというわけです。

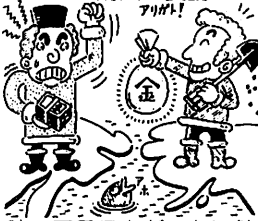
江戸時代にはお歯黒という言葉は公家言葉で、御所では五倍子水、民間ではつけがねなどといっていました。お歯黒を結婚式の日にするのは幕末からの風習で、既婚者のしるしであると信じられてきましたが、平安時代には8～9歳で行った例もあり、鳥羽天皇の頃になると、女子に限らず男も行うようになったといわれています。一般庶民は行わず武家の侍以上のものが行ったそうです。

さて、お歯黒の風習はどこから来たのでしょうか？樋口清之博士によれば、南方諸島にみられるピンロウジュの実をかむ風習からということです。この実をかむと清涼感があり、長い間続けると歯が黒くなる。ピンロウジュをかむ暇のある人は身分が高い人だった。歯が黒く染まる一身分が高い。これが日本に伝わってお歯黒が行われるようになったということです。

領土が金で買えたよき時代

歴史を振り返ると、戦争の原因はほとんどが領土争いといっているでしょう。ところが領土を戦争によらず金銭で手に入れた例も少なくありません。

有名な例がアラスカです。1867年、アメリカ合衆国はアラスカをロシアより720万ドルで買い入れます。現在ならとても考えられないことですが、アレクサンドル2世治下の当時のロシアは広大な領土を持て余しており、アメリカ政府に13年間にわたって購入を要請していたのです。



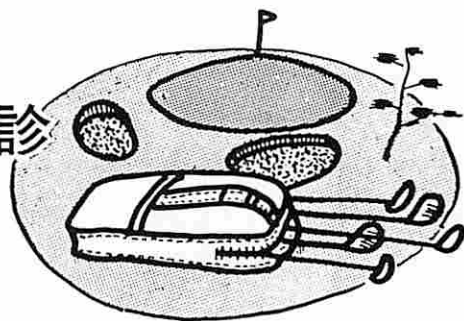
アメリカの国務長官ウィリアム・シューアードは購入決定の責任者として「無用の買物」を議会筋から非難されたといいますが、当時のアラスカがいかに魅力に乏しかったか想像できます。ところが1880年、アラスカの1地方で金鉱が発見されます。アメリカ国内でシューアード長官の「英断」がたたえられたのはいうまでもありませんでしたが、ロシア側でもさぞ歯ざしりした人間が出たことでしょう。

もうひとつ、アメリカには金銭で手に入れた領土があります。

ニューヨークの中心、マンハッタン島です。これは合衆国成立以前の1626年のこと。オランダ西インド会社が、ここに住んでいたカナシー族インディアンから、ナイフ、飾玉などの贈物で手に入れました。それらの代金は、60ギルダー、およそ24ドルといいますが、こちらはインディアンの無知につけ込んだ詐欺的行為といえましょう。

〈雑学のタネ本〉より

本日休診



ゴルフに夢中

小田和人

〈ゴルフの魅力とは〉

現在、日本には2,000余りのゴルフコースがあり、「スタートがなかなか取れない」とよく耳にする。バブル崩壊後はやや下火になった感はあるが、まだすごい人気である。

ゴルフの魅力とは一体何であろうか、考えてみた。まずゴルフほど人間性が出るスポーツはないのではなかろうか。強気と弱気が錯綜し、プレッシャーの中で心が揺れる。頭では分かっているのに身体が動かない。ここ一番でどんなショットが打てるか、勝負どころでどんなパッティングができるか、その人のキャラクターが出る。闘うべき相手はコースであり、自然であり、何よりも自分自身である。

あるがままにボールを打ち直径わずか108ミリのホールを目差す。アマチュアが万に一つのスーパーショットを放つこともあれば、天下の名プレイヤーが50センチのパットを外すことだってある。だからこそゴルフは面白く、人々の心をワクワクさせてくれる。プロ野球界のスーパースター長嶋茂雄氏は全英オープンでリポーターとして超一流のプロ達のプレーぶりを観戦した後、次の様に語っている。

「ゴルフは“熱さ”と“冷静さ”が同居したゲームである。張り詰めた緊張感の中で最高の

ショットができる選手と崩れてしまう選手が分かれていく。熱く燃えたエネルギーと、冷静な判断力とのバランスが、感動的でドラマを創る。そしてプレッシャーを楽しめる選手だけが勝つことができる」



〈初ラウンド〉

1975年10月某日。天草カントリークラブ。1番ティグラウンド。私が生まれて初めてゴルフクラブのグラウンドに立った日である。膝はガクガク、身体は小刻みに震えている。頭の中は空白。兎に角、ティーショットである。もちろんショットはナイスショット。それからは只々白球を捜し、捜し求めては打ちつづけ、18ホールをどう廻ったのか、殆ど覚えていない。只一つだけ、15番135ヤードのショートコース。池越えの打ち下し。パートナーのナイスショットの歓声とともに5メートル、いや7～8メートルはあったかな？にオンしたのである。そして成り

振りかまわず108ミリのホール目掛けて打った球はゆるやかなカーブを描いてカップに沈んでいった。トータルスコアは140だったか150だったのか、そんなことはどうでもよかった。(実際に冷静にカウントすることができなかった。)このバーディーがその日の凡てであった。それから私のゴルフ人生が始まったのである。



思い出の新樹会
〈10周年・15周年記念ゴルフ大会〉

1986年9月23日、阿蘇東急ゴルフ場にて行われた10周年記念大会ではインからのスタートであった。15番までパープレー。16番の第3打はピン横50センチ。ややフックライン。強めに打った球はカップ淵に蹴られてボギー。その後17番、18番ともにパー。イントータル37。あの時ももう少し弱く打っていれば、あれが入っていれば36のパープレー。(現在までパープレーなし。)ゴルフに“たら”・“れば”は禁句。誰にでもそんなことはあると言われるかもしれません。分かってはいるがしかし浅はかなものでつい思ってしまう。アウトはその思いが尾を引いたのか、はた又意識しすぎたのか実力通りの46を叩いて、意気消沈していたらダブルペリア方式の為、ネット72.2でなんと優勝してしまったのである。何が幸いするか分からない。BG賞を獲得したシングルプレイヤーのM・K氏は75で廻り、ネット74.1。「どうして僕が負けなければならないの」と大層悔しがっておられた。ちなみにその5年後の1991年10月20日に行われた15周年記念大会においても優勝したのであります。



〈我がゴルフ仲間の愉快的な面々〉

ゴルフにベット(握り)は付き物である。これがあるから一層面白く、又ゴルフ自体も強くなる。最近頻繁に御一緒させていただくS・J氏。頑固なまでのスライス打法で、若い者には負けられないとばかりガンガン攻めてくる。もしもベットで僅かでも負けていようものなら「後ハーフ行けばいい!!」と言う。

たまに御一緒させていただくN・S氏。アドレスに入ったかなと思った瞬間、ボールはフェアウェイ目差して一直線。正に早打ちである。早打ちと言えどM・S氏も引けは劣らない。アドレスからトップそして又トップの二段モーションは以前としては直らないが兎に角早い。反対に遅打ちの代表はI・I氏である。ティーグラウンドはもとよりフェアウェイ・ラフ、グリーン回り、グリーン上と。特にベットが溜まってくると益々遅くなる。遅い人の中にもう一人、ゴルフは上手だが口煩い人。片手シングルのK・T氏。某日K・T氏と一緒にラウンドした時の事である。バーディー賞K・T氏(1ポイント)、私(2ポイント)でベット。私は全く自信がなかったので止めようかと思ったが、K・T氏がどうしてもやろうと言うのでしぶしぶ承諾。結果はK・T氏のワンバーディー、私は生まれて初めてのスリーバーディー。最終18番グリーンでの私のパットは僅か30センチのバーディーパット。アドレスに入ってから打ち終るまで“外せ”“外せ”と煩いこと煩いこと、到頭、旗竿まで大きく左右に振るしまつ。口煩いと言

えばこの人のも心にズキッとくる。H・W氏である。先日の熊本市歯科医師会ゴルフ大会に於て、ヘッドの小さい菱形の変ったパターを商品として贈られた。次の休日にさっそく例のパターを使用され、ショートパットを外しては可笑しい、スリーパットしては可笑しいと言い、竿一以上のロングパットを決めると「やっぱり俺はパットの名手ばい」と鼻高々で意気揚々。18番グリーンでは5～6メートルの難しいパッ

トを決めパーでホールアウトしたときは鼻の先は天空を向いたまま上機嫌であった。その他にも楽しい面々を紹介したいが紙面の都合上できないのが残念である。これからこの様な愉快的な面々とプロのトーナメントにも負けないような名ドラマ（珍場面）を創っていきたいと思っている。



〈ちょっとBREAK〉 パートII

ヒトラーは自殺か

第二次大戦後、ヒトラーの最期についてはさまざまな説が流布し、一部の人々の間では生存説までとなえられました。

現在でもその疑いが完全に払拭されないのは、遺体の確認に数々の疑問点があるからです。



ヒトラーは、ソ連軍がベルリンに迫った1945年4月30日、官邸地下壕の一室で結婚したばかりの花嫁エバと自殺を遂げ、遺体は中庭でだびに

付され、埋められたことになっています。

数日後、ソ連軍の捜査隊が官邸を占拠し、黒こげの遺体を掘り起こしました。ただちにソ連軍の手で遺体の検証が始まり、1945年5月8日付けの法医学的剖検報告で「多分ヒトラーの死骸」という結論を出しています。

この報告によると、死因は胃酸カリによるものとされ、遺体には睾丸が一つしかなかったとされています。

これに対し、部下は明らかにピストルで自殺したと証言、またドイツ側資料によるとヒトラーは正常な性器の持ち主だということになっています。たとえ黒こげでも、弾こんは残ります。そのため、ソ連側報告は連合軍側に疑問の目で見られました。

不可解なことに、ソ連側はその直後、みずからの主張を公式に否定、ついでまたしても歯を調べた結果ヒトラーであると鑑定。やがて、この鑑定を再度撤回し、イギリス官憲が占領地区にヒトラーをかくまっているのだと主張するありさまです。

こうした背景からヒトラーはベルリンのティーアガルテンでドイツ将校特命隊によって射殺されたのだという説や、潜水艦でどこか遠い島へ逃げたという説、さらにスペインの修道院、南米の大牧場に隠れたなど、さまざまにうわさされました。

真偽はともかく、歴史をさわがせたヒトラーらしく、謎につつまれた最期といえましょう。

出場順番60番！

藤崎八幡宮秋季例大祭

清 村 正 弥

〈4日間のウズウズ日記〉

8月もお盆が過ぎると、熊本市内ではあちこちから、太鼓とラッパの音が聞こえ始めます。9月15日の藤崎八幡宮の秋季例大祭に参加する人達が練習している音です。私もこの時期になりますと、どうしても全身がウズウズしてしまいます。これは、そのウズウズ日記です。



〈9月12日（日） 前夜祭〉

午後3時半に熊本市市民会館の控え室到着。1時間遅刻しているの、2、3人しか人がいません。皆は、ステージで練習をしているとのこと。焦ってスーツを脱ぎキマタ、ダボシャツ、足袋を身に付け、法被を手に掴み、大ホールへの階段を一段とばして駆け降ります。ドーカイ、ドーカイの掛け声、スポットライト、ハイトーンのラッパ。いいなあ、この雰囲気。

これから15日までの4日間は私にとって特別な日々です。祭りにドブブリ首まで漬かった生活になります。今日はその初日で、高校OB連合主催の前夜祭です。各同窓会とも音や照明にも気を配り、特徴を出そうと必死です。私たちも8月初頭からこの前夜祭の練習を始め、9月に入ってから毎日通し稽古をして、カッコイ

い舞台を目指してきました。

出番を無事に終えて2次会へ。またまた大騒ぎ。楽しく盛り上がり、11時に解散。皆三三五五3次会へ。

〈9月13日（月） 飾り卸し〉

本日休診。朝9時半に母校集合予定。医院近くでタクシーに乗ろうと、祭り装束で家内（彼女も大の祭り好きです）と白山通りに立っていると、ある患者さんと出会いました。「あー、そっで休みですか。そらー、頑張ってください」全ての患者さんがこうならよいのですが、きっと快く思っていない方もいらっしゃるのだろな、などと気の弱い歯科医の考えが頭をよぎりますが、祭りの楽しさには代えられません。スミマセン。

私は、楽隊（風雷神といいます）で太鼓を叩いているのですが、昼前からの雨を見て、あわてて太鼓のビニールカバーを作りました。カバーをすると太鼓は鳴らなくなるのですが、今年作ったばかりの二尺太鼓を濡らすわけにはいきません。なんとか雨があがるのを祈るほかありません。

午後1時、母校応援団のエールとブラスバンドの校歌演奏に送られ校門より出発。いつのまにか雨もあがっています。この飾り卸しの前半では、寄付をいただいたOBのところを母校から順に巡りながら、藤崎八幡宮を目指して列をなして行くのですが、私は、その始めのところが苦手です。例年、宇治先生と木庭先生の医院の前で囃子を演るのですが、今年のようにこの日が平日だと、おれはこんなことをしていて良

いのだろうか、とまたもや気の弱い歯科医の考えが頭をよぎってしまうのです。でも九学通りに入るころには、祭りの楽しさで頭の中には再度充実。

藤崎八幡宮に参詣し、繁華街から代継橋へ。5時ごろから再び雨。土砂降りです。終点の南熊本は近いのですが、ここで解散の断が下りました。馬方と我々楽隊だけで最後まで行くことになりました。

最終解散午後7時。楽隊は慰労会へ。

〈9月14日（火）〉

本日平常診療。予約外の患者さんの来院もあったのですが、事情をご存じの患者さんは「お祭りが終わってからきますね」と来院を自粛なさっているの、声枯れ・筋肉痛のデントリストでもなんとかなります。定時に診療を終え、母校近くの祭り実行学年の事務局に顔を出しました。すぐに帰るつもりで来たのですが、担ぎ棒に太鼓を縛り付けたロープが昨日の雨で緩んでいるのに気づき、2時間かけて太鼓5本分のロープを締め直しました。9時過ぎに迎町の先輩のお宅へ伺い、柄杓や扇子などお祭りの小道具を手に入れました。途中、明日の本祭りの給水所で使う氷を届けに西唐人町まで往復。結局午前2時近くまでお邪魔してしまいました。それから帰宅すると、家内は祭り用の化粧をしてもらいに上通りまででかけるところでした。1時間程で帰ってきましたが、今度は午前5時から別の美容室で頭をお団子に結ってもらおうそうです。私は男でよかった。女性は大変です。



〈9月15日（水） 本祭り〉

出場順番60番。午前6時半、大江の堂免公園集合。指折り数えたこの日こそ、晴れの舞台のど真ん中。嬉しい。一日中頭は真っ白です。午後8時に鳥居をくぐり、祭りが終わりました。右手はバチで豆だらけ。両肩は担ぎ棒でパンパンに脹っています。そして全身がクタクタなのですが、それは心地よい疲労感でもあります。

今日で区切りなのですが、来週の打ち上げが終わると、来年に備えて、また楽隊の稽古が始まります。

祭りは、年に1回だけですが、私の祭りは1年中続くのです。

一枚の写真



坂元和彦先生

熊本市上高橋町440

写真に関する思い出

この写真は昭和53年頃、早起き野球出場時の一枚です。同窓会の親睦と友情、連帯感を育てる為に結成したものです。

当時は1、2回戦ボーイで、3回戦に一度進んだ（相手がこなかった）チームでした。

写真には田嶋宗穂先生、上村次郎先生の顔もみられ、今は懐かしい写真の一枚です。

近況報告・近頃、感じたりすること

子供が大学に入る年頃となり、最近、肩こり、腰痛に悩むことが多くなり、健康が遠い昔のようです。健康保持のため朝の散歩から始め、早

や足、軽いジョギング、水泳とメニュー（計画）は万全なのですが……。何かしなければと思いながらも、もう5年も経ってしまいました。



大嶋健一先生

熊本市武蔵ヶ丘5丁目27番20号

写真に関する思い出

去年の夏休み、家族4人でグランドキャニオンの中を流れるコロラド川のラフティング（激流下り）ツアーへ参加しました。

大きなゴムボートに15人、4日間の旅、真夏でも凍る様な冷たい水、人の高さの2倍もある波の激流、川辺でのガラガラヘビに注意しながらのキャンプ。最後はボートから降り、キャニオンの谷底から地上迄の垂直な壁のすきまを



ぬって、9時間のハイキング（私以外の家族は7時間でしたが）、あまりにもすべてがものすごく、楽しかったのか苦しかったのかわかりませんが、とにかく思い出に残る経験でした。

近況報告

いつ迄も若いつもりでいましたが、白髪も増

え、目も老眼になって来ました。

近頃、感じたりすること

子供達（中1と小5）が大きくなり、遊び仲間が増えた様な感じがします。「楽しく友と無心に遊ぶ」これが最高!!



久保田 晴 一 先生

熊本市八幡町739-2

写真に関する思い出

いろんな時代にもいろいろの思い出があるものです。平凡な出来事ばかりで特別なことはなかったのですが、その中でもお送りします2枚の写真がすぐに思い浮かびました。写真Aはやっと大学に入って初めて運動部の合宿に参加した時の写真です。ウエストもひきしまつて今の体と大分違います。となりを歩いておられるのが牛深の規矩先生で、偉大な先輩で数々の試合で大会記録を作られた我が水泳部の誇るスイマーでした。私の方は選手としてよりもマネージャーとして活躍する方が多いくらいでした。



写真A

写真BはKBCテレビの「奥さんほっとスタジオ」というモーニングショーに出演した時の写真です。独身男性ばかり10名くらい福岡のスタジオに集まって、結婚に対する感想をきかれた時の模様です。大学にテレビ局より2名の出演依頼があった時、夏休みで人間が少なかった為とたまたま学生課に顔を出していたので出演しろといわれて、気軽な気持ちで引き受けた事でした。番組終了後、見合いをしてくれと電話がかかってきた時は困りました。以上の2枚の写真が特に思い出が深いものです。



写真B

近況・近頃、感じたりすること

現在、若い若いと思っていたのが40才の半ばをすぎ、少しずつ目がかすむ様になってきて体力のおとろえを感じる様になりました。もう一度、水泳で体力を鍛えようと頑張っています。

東 部 2 支 部 旅 行

— 鵜飼いとゴルフを満喫 —

秋晴れの好天に恵まれた9月25・26日の両日、東部2の支部旅行が、1日目大分の日田温泉で鵜飼いを楽しみ、翌日はゴルフコンペというスケジュールで、11名の参加のもと行われました。

25日の午後3時に4台の車に分乗し、県庁前から一路日田へと出発しました。

夕刻、亀山亭ホテルにチェックインし、展望浴場で汗を流した後、さっそく屋形船へ乗り込みました。(鵜飼いは10月末までで、冬場にはこたつを置いて雪見船となるそうです)

まずは、宇治支部長の現在の東部2の状況などについての挨拶があり、その後、久しぶりに参加された小柳先生の乾杯の音頭で宴会が始まりました。宴も盛り上がってきた頃、目の前に船が回って来て、鵜飼いの実演(実際にウグイ等を獲っていました)と、記念撮影がありました。鵜匠の方の話によると、鵜は昔は玄界灘あたりから獲ってきていたが、今では茨城県の方から取り寄せているとのことでした。

屋台船での宴会は初めての経験で、川の流れのままに船が動き、周囲の夜景も美しく新鮮な感じでした。



その後も宴会はさらに盛り上がり、2時間程で一次会はお開きとなり、温泉街のスナックでの二次会となりました。熊本市内とはまた違った風情の店で、宇治、永野、橘各先生方の自慢の喉を聞かせてもらいました。

翌日は、絶好のゴルフ日好となり、日田ローレルカントリーでゴルフコンペが行われました。

例によって、好プレーあり珍プレーありのゴルフで、結果は次の通りでした。なおハンディーは極秘扱いとなっていますので、ふせておきます。



私たちの支部旅行もいつも同じ顔ぶれで、親しみやすいのですが、もっと新人の参加がないので少し淋しい感じがしました。次回はもっと多くの会員の参加を期待します。

		ネット
優勝	上原	64.0
2位	吉永	68.0
3位	宇治	70.0
ベスグロ	松本(光)	78

ひ

り

と

と

ご



寝たきり老人訪問診療に思う

岩村 泰行

高齢化社会

近いうちに60才以上の人が国民4人に一人の割合になるであろうといわれており、高齢化社会の時代になりつつあります。統計学的数字はともかく、日本は国際的にも世界の長寿大国となったことは間違いない事で誠に喜ばしいことでございます。しかしながら、はたして諸手を挙げて喜んでよいものでしょうか。これにはいささか疑問を持ちますのは私一人でしょうか。国民みんなが健康で健全な生活を営み幸福に過ごされているのであれば、言うべき事なく大いに結構なことでございます。しかしながら果たしてそうでしょうか。

1) 乳幼児については、昔、戦前は未熟児、奇形児、その他はそのまま死亡していたであります。しかし現在では医学の素晴らしい発展によりまた人間尊重、人権尊重の名のもとに数多く一生命が救われ、死亡率が極端に低くおさえられてきています。

2) 成人においては

戦前、人生60とか言われた時代がありました。そしてある疾患については所謂「ご寿命でございました」でその人生は終焉ということになっていたのではないのでしょうか。そして今、すべてが豊かになり寿命そのものが伸びて来たのも事実であります。しかし、

一面に於ては労働災害、交通事故、その他種々の災害による障害者は別として精神的、労働過重、衣食住、核家族化、など生活環境の変化によるストレス、地球環境、社会環境、などの汚染悪化などによる公害病、あるいは種々の現代社会構成のひずみによると思われる現代病といわれる疾患も増えているのではないのでしょうか。これらの疾患に対して現代医学は素晴らしい発展を遂げ、元気に社会に復帰し楽しい生活を送っておられる方々も多くなっておられます。以上のことから乳幼児から年輩者まで健康な人々を含めて長寿社会を構成しているのではないかとおもいます。

即ち、ある意味において作られた長寿大国と言えるのではないのでしょうか。今後益々長寿となり高齢化社会は上昇の一途をたどり色々な問題（雇用問題、年金問題、医療問題、老後保障問題）があり、これらの福祉は国家の事業として税収で行われ従って高齢化社会の進展に伴って税金も増大するものと考えられます。

3) 寝たきり老人を思う

現在の老人と呼ばれる方々は戦前あるいは昭和一桁の方々に（中にはそれ以降の方もあります）前述のように長い間苦勞をされてきて元気にご活躍になって居られますが、

不幸にして病に倒れ病床に伏して闘病生活を
よぎなくされている方々も少なくありません。
これらの方々に対して何とか救いの手を差し
伸べてあげることはいか、最近歯科に
おいてもやっとな行政サイドからも考えていた
だけになりました。患者を訪れてみま
すと、ご家族の方々は御苦労をいとわず親身
に看護をされておられます。

寝たきりになりますと枕元のテレビを見る、
または読書、そして食べることが唯一の楽し
みではないかと思えます。

現在痛いところを治してあげるのはもち
ろんですが、なんとか口腔の機能、特に咀嚼
機能の回復をしてあげるべきではないかと思
います。

そのことによって食事の楽しみはもちろん
のこと全身疾患の改善または回復をはかる事
が出来、また闘病生活を明るくものにす
ることが出来るのではないかと思います。

色んな条件のもとその状態に応じた処置し
か出来なく医療に携わる者として不本意な点
もありますが、病床のかたわらで十分な医療
器材の使用が思うに任せず、また色んな疾患
を持っておられ、即ち有病者である、これら
のことからある程度の限られたことしかして
差し上げられないことはやむを得ぬことです。
願わくばそれ以上に悪化しないよう口腔の清
掃、プラークコントロールをして頂くようお
願いいたします。特に手足の不自由な方、半
身不随などの方々については保健婦さん、看
護に当たっておられるご家族の方をお願い
いたします。そして少しでも快適な闘病生活
を送られるとともに一刻も早く回復されます
ようお願いしております。

4) 終わりに

これからの老人医療をどのように捕らえ、
対策をなすべきか、これは一人歯科医療に限

らず国家全体として考えていかなければなら
ない福祉国家として重要な問題でありましょ
う。

歯科のみに限って申し上げたいことは、寝
たきりになる前（いつ、誰が、どうして寝た
きりになるとは予測も出来ないのですが）の
失礼を顧みず申し上げれば、いわゆる寝たき
り予備軍とでも申しますか、現在、御元気の
御年寄りに対しての歯科医療、即ち老人医療
対策についても真剣に取り組んで行かなけれ
ばなりません。今後益々高齢化社会になっ
て行く中での対応を考えて行く必要があります。

出来るだけのことをして差し上げ、励まし
愛情をもって生きる力を与えることが医療人
としての努めではないでしょうか。浅学を顧
みず申し述べてみました。

老桜の今咲く花や 来る春も

今に勝りて咲き誇らんや



この頃思うこと

因果性を主軸とする一考察

パートII

遠山 啓介

第二章

私は、パートI、第一章において、因果性と、必然性、偶然性との関係について述べてきた。次に因果関係そのものについて論考してみよう。

事象と因果性

私はこれまで、因と果とはあたかも一対一に対応しているものとして論を進めてきた。しかし、原因と結果とは一対一に対応するものであろうか。例えば衝突事故を考えてみると、それが起きた要因は相当数挙げられる。地形、スピード、運転技術、体調…などなど。決定的原因は、本来的には一義的に断定出来ない。門秀一は『不条理の哲学』の中でソクラテスの死を次のように考察している。「ソクラテスは古代ギリシャの哲学者であるが、彼は人民裁判の判決に従い紀元前399年にアテナイで毒を仰いで死んだというのが歴史的事実とされている」。著書はソクラテスの死の原因を深慮する。即ち、「毒が原因と通説は規定する。しかし、同質、同量の毒がすべての人にとって致死量とは成り得ない。それではソクラテス自身の体質によるものであろうか。彼が老人であったということもあるであろう。ソクラテスは獄中から逃がれることも出来た。にもかかわらずソクラテスは獄中にそのままとどまり、己ずから従容として毒盃を仰いだ。そこに見出すものはソクラテス自身の意志であり、彼の主体性が原因と言えるのではないか」と述べている。つまり著者は死の原因を化学的根拠ではなく、主体性だとする。これは余談であるが、シベリアの農夫から修道僧に成

り上がった怪僧ラスプーチンは、^{ばんさんかい}晩餐会の席で青酸カリ入りのコーヒーを飲まされたが、よめいだけで死ななかったという。正常の胃では青酸カリは強い酸性のため、青酸ガスを発生して、ただちに吸収されるところ、ラスプーチンは無酸症であり、毒殺をまぬがれた。と薬学博士の佐久間昭は「薬と効用」の中で記している。

因果関係における要因の多義性について

D. ボームは、その著「因果性と偶然性」の中で、銃の弾道に関して言及し、その要因の多さについて述べている。意味のある原因には銃の構造の不規則さ、気流、気温、気圧、湿度、銃弾の重さ、性質……などなど。究明すれば限りない原因、あるいは条件の存在することを主張する。このような多くの原因が関与して一つの結果に到るものと、逆に一つの原因から多数の結果を派生する場合も考えられる。前述の例で言えば、ソクラテスの死は原因となり、種々の結果を導くであろう。世界はこのような二者の無限のからみあいと連続なのではないだろうか。「人間の知が広がれば広がるほど、一つの事実の生起を確実に予想することが、いよいよ困難となることが人間の経験とその範囲を同じくしている。したがって両者の出会い、そして因果関係の現成は、必然性はおろか、その蓋然性すらきわめて少ないものである。いいかえれば、そこには反対の事実（結果）が出てくる可能性、そして一定の事実が出てこない可能性がそこにある」と、門秀一は言う。

科学と法則について

それでは化学的法則はどのように解釈されるべきであろうか。物理、化学そういった、諸々の法則は、人間の観察の結果乃至、理論的、演繹的、帰納的に得られたものであろう。しかしながら、前述の引用からも解かるとおり、すべての条件を考慮に入れることは出来ない。勿論我々の絶えざる追求において、現象と法則の間の相関性を高めていくことは出来る。だが、法則と現象が全く一致する事態はあり得ないだろう。我々は多くの法則を利用して、月に到着出来る事実を知っている。しかし現代の科学で隕石の衝突までを予知出来るであろうか。勿論、隕石の大小にもよるであろうが……。

この世界は雑多にして変転極まりない現象に満ちている。恐らく、我々の科学がいくら進歩しても全くの予想可能という状態は来ないであろう。なぜなら、原因と結果は一対一の対応関係になく必然的因果連関は存在しないから。但し、我々は一つの現象に関して意味のある原因の重要度を判別することは出来る。この点は非常に大切なことである。それ故、大して重要でない、影響の小さい要因は無視してもかまわないという事実はある。それでもやはり一つの結果を現出させる要因であることは間違いない。それは便宜的な消却にしかすぎないのだから。

第三章

私は、次に不確定性原理の提唱者ハイゼンベルグの含蓄ある言葉を引用しよう。「近代物理学においては、究極の客観的実在と考えられた物理の構成要素は、もはや『それ自身』を観測できないこと、その時空間における客観的位置づけは拒否され、この粒子に関する我々の認識だけが科学の対象となり得るに過ぎない。したがって自然科学では、探究の対象はもはや自然自体でなく人の質問にかけられた自然であり、結局、人間は自分自身と向いあっているに過ぎな

い一方、現代における人間存在における種々の不安や動揺は、人間が歴史の流れの中で初めて自然のなかの自分自身と対峙していることから起っているものであり、その存在の基礎における変革は、自然科学の基礎の変革に应ずるものである」。

『現代物理学の自然像』ハイゼンベルグ現代の量子力学は因果性の破綻をもたらした。

さらに、自然科学の探究の対象は客観的自然そのものでなく、“人間の認識”を対象にしているとす。これは現代の分子生物学と符合する。その点について少し論じてみたい。

DNAと認識限界

今や、古典力学的な“純客観的な世界”は我々の前にはなく、人間の認識限界と関係してくる不確定性の範囲でしか世界は認識できない。さらに言えば、認識主体としての人間の存在と限界という問題がすでに自然科学の基盤にある。ミッシェル・フーコーの言葉を引用すれば、「生物とはまず第一に遺伝システムであり、個体の性、生、死とは遺伝情報を伝達するための進んだ方法でしかない」と言う。つまり、遺伝子が本質であり、我々はそれを継続させるための媒体ということになるのであろうか。これは極論としても、我々人間も、つまるところは、分子機構であり、この機構の発現は遺伝情報を蓄えたDNAによって決定される。それは、我々の脳細胞においても同様であろう。生物の構造が一つ一つ先天的にそれぞれのDNAテープで決定されていると考え、我々人間の神経ニューロンのネットワーク（＝認識方法）も、その情報で決定されていると考えても不思議ではない。そうなると、我々も精神的機能、認識方法、思考方法なども、ある程度先天的に規定されていると考えた方が自然である。分子生物者渡辺格は次のように述べている。「我々が、三角形や四角形を認知できるのは、三角形なり四角形を

識別できるニューロンのネットワークが前もってできているからで、それがうまく出来ていない人は、それらを区別することが出来ない」。

勿論、認識機構は全くDNAに決定されてしまっているのではなく、渡辺格の言うように、各人の脳のニューロンのネットワークは第一義的には各人のそれぞれ違った遺伝情報と、第二義的には各人の受けた体験、学習、環境という、二つの面から形成される」と思われる。

ところで、このような観点からすると、自然科学的認識はどうなるのであろうか。これに関しては、渡辺は言う。「それも先験的認識だとすると、自然科学というのは、われわれがすでに先験的に潜在的に認識しているものを、意識の上にとりあげて認識し直す手続きにすぎないことになる」と。

数学的客観性について

以上のような引用を通じ、私がここで主張したいのは、もはや、我々のまえに客観的実在などない、ということである。我々が現認しているのは、物的世界ではなく、現象としての事的世界であり、我々の認識の綱目にかかったものだけが、それとして認識出来るということである。つまり、我々の認識の祖上にあがったものは、⁷⁷既に人間的に意味づけられた“何か”である。長い間、客観的実在と考えられていた数学ですら、カントールの集合論の展開の過程で逆理が発生し、それに対応するため、形式主義、直観主義、論理主義と呼ばれる思想的立場を現出させた。その中で形式主義がやや優位にあったが、ゲーデルの不完全性定理の証明が発表されるに及んで、それも破綻を来した。結局、数学は客観的実在に照応するものでなく、その時代の数学が各個人の内部につくりあげる〈心理的実在〉にすぎないと考えている数学者もいる。

因果性と認識の限界について

さて、再び因果性に話を返そう。前述のよう

な観点に立脚する限り、我々が原因、結果と思いついていないものは、当然のことながら我々の認識の範囲内での思惑である。しかし、原因、結果は、我々の主観的認識におさまりきれぬものであろうか。私は“否”だと思う。私は、基底的には何かが原因し“何かが結果する”としか言えないと思うのである。つまり、それは我々の認識を越えた（主観を越えた）現象の深みに存在し、一義的には断定出来ない。もし、断定しようとするれば、それは皮相的なものでしかないと思う。勿論、ここで重要なことは、我々は、ある現象を考えた場合、その原因と思われるいくつかの要因の意味の重要度は便宜的に比較考慮は出来る、ということである。それ故日常的には困窮しない。

因果性と世界

だが厳密な解釈立脚する場においては、私は多くの原因とそして多くの結果との偶然的結合を感取する。一対一に対応してかつ必然的因果連関を有する事象は考え得ない。只、我々に言えることは、否、私に言えることは「何かが原因しそして何が結果し、さらにそれが原因となる。この世界はその連続である」と。もし、すべてを見透すことの出来る絶対者が存在するとすれば、この世界は一義的に決定された必然の世界であらう。しかし、そうでない我々には、ある程度の予想可能性の存在する偶然の世界ではあるまいか。

ドイツの実存哲学者ヤスパースは次のように述べている。「もし必然性が絶対的となるなら、それは偶然性と同じく堪えられない。人間は代るがわる一方によって他方から解放されようと試みる、つまり、必然性の思想によって気ままな偶然から、可能性と偶然の好機との思想によって無慈悲な必然性から、解放されようとする」と。

※参考文献は誌面の都合上割愛します。

私の医院の思いがけない新人

永 野 忠

〈なぜこの文を書いたのか〉

この文のテーマは、障害児の個人開業の歯科医院への就職という他の会員には縁遠く、あまり遭遇しない問題です。この問題に聖人君子でもなく、障害児問題に造詣が深いわけでもない私が直面し、悩んだ経緯を書いて見ようと思う。また拙いこの文を読んで、少しでも心に残るようになれば、非常に幸いと思う。

〈就職するまでの経過〉

話の始まりは、平成4年9月までさかのぼる。私の長男が熊本大学養護学校の小学部にお世話になっているのが糸口になったのか、高等部の先生が職場実習に男子学生をと依頼された。現場実習をする職場が少なくてこまっているという学校側の実情を考えたことと、依頼された学生が軽度の脳性マヒで、外形も運動能力も健常児と劣ることがなかったのも、私はその依頼を快諾した。

実習は9月と11月の2回、合計6週間行われた。仕事指導や職場に慣れるのに時間がかかったほかには、あまりに大きな問題なく過ぎ去ってしまった。実習内容は、綿花やガーゼ折り、印象材はずし、消毒器具の清掃、院内・院外の掃除という簡単なものであった。

問題が起こってきたのは、次の実習依頼からです。「また高等部3年生の軽度のダウン症の女学生をお願いしたいと思います」と頼まれた。この時私は、最終学年の職場実習ということで、ふと心にひっかかるものがあり素直に担当の先生にそれをぶっつけてみた。「私の病院に就職を望まれているのでは？そう考えておられるならば、最初からおひきうけするわけにはいかない」



A子さんと私

しかし先生から「とにかく仕事ぶりをみて下さい。前の男子生徒の仕事内容を見て、この女子学生ならばりっぱにやり遂げてくれると確信していますから。もしだめならば、断って下さっても結構です」と熱心に説得された。私の生来の優柔不断の性格から、無下に断わるわけにもいかず、就職を前提としない実習ならばということで、ひき受けた。

実習をやっているうちに、彼女自身の底抜けに明るい性格と、仕事のスピードは遅いがひたむきな態度に、私の硬化した最初の姿勢はしだいに軟化していった。軟化した理由は、彼女自身の努力と周囲の人々の熱心な態度ともう一つ経済的理由もどうしてもはずすことができなかった。それは障害児の就職に対して、支払った給料の約半は支給されることです。この一項がなければ、私は正直、真剣にこの問題に取り組むことはなかったと思う。

第1回目の実習の最後の日に、担当の先生に「就職のことは前向きに考えてみます。2回目の実習は、就職を前提にした実習に取り組んでみましょう」といった。その時、手を取り合って喜んだ先生と女子学生の姿は、まだ目に焼きついている。

まだこの時点でも、私には2つの事が心にひっかかったままだった。1つは長期間責任をもってA子さんを雇用できるか、第2点は他の従業員が障害児と同じ職場で働くのをいやがり、病院のイメージもダウンするのではないかの2点でした。第1点は、1年間の契約ということで納得してもらった。私の考えもどう変化するかわからないし、直面する問題が大きくて処理することができないのではないかと危惧したからです。第2点は、他の従業員も障害児を身近に感じるにより今後の自分の人生にプラスになると思い、楽観的に考えようと障害児の就

職を決断した。

〈6ヵ月が過ぎた今〉

現在今年の4月から私の医院に就職し、6ヵ月が過ぎようとしている。実際やってみると思った通りに困難な面も多くあった。仕事には、誰かアシストしてやらなくてはならず、新しい仕事を教えるのはたいへん骨が折れることとか、官庁に出す書類が思った以上にメンドウだとか非常に非常に大変でした。しかしその様な苦労もA子さんの屈託のない笑顔を見ると、しかたないなあ、自分が頑張らなければとまた気を取り直す毎日です。

〈A子さんの1日〉



池田町からバス通勤で、8時45分医院に到着、早速タイムカードを押す



印象材はずし、器具の清掃、院内外の掃除、ガーゼ折り、綿球作り、綿花折りが彼女の主な仕事



12時になったら大好きな中食の時間



1時から診療台の掃除、院内の掃除が始まる



4時になったら、お疲れ様とのあいさつとともに帰宅



スポーツの広場



ゴルフ・野球・ボーリング等のスポーツを愛好し、毎週、毎月それを楽しみにしておられる先生方が数多くおられます。そこで私達市広報委員会は、スポーツの結果を季刊誌に掲載することで、ますますスポーツを通しての友好の輪が広がることを期待しています。

これからスポーツに関することで、会員の皆様の御協力、御投稿をお願いします。

空港デンタル会

H5. 9. 23 16名参加 ダブルペリア方式

			O	I	G	H	N
優勝	中島	義和	39	38	77	7.2	69.8
2位	甲斐	利博	44	42	86	14.4	71.6
3位	大嶋	健一	43	44	87	14.4	72.6
4位	小田	和人	45	49	94	20.4	73.6
5位	稲葉	逸郎	48	40	88	14.4	73.6
BB	渡辺	博	50	51	101	18.0	83.0

熊本デンタルゴルフ

7月18日 空港カントリー 20名

			O	I	G	H	N
優勝	小田	和人	42	39	81	12	69
2位	中島	義和	43	36	79	6	73
3位	藤岡	憲昭	46	44	90	16	74
4位	中川	順一	42	45	87	12	75
5位	千場	正昭	45	45	90	14	76

8月15日 空港カントリー 18名

優勝	稲葉	逸郎	38	40	78	8	70
2位	甲斐	利博	38	41	79	5	74
3位	渡辺	博	44	44	88	10	78

4位	元島	博信	45	50	95	16	79
5位	上田	忠	45	47	92	13	79

9月19日 空港カントリー 18名

優勝	工藤	隆弘	41	44	85	17	68
2位	坂梨	常太郎	43	37	80	10	70
3位	甲斐	利博	38	38	76	5	71
4位	神山	久志	46	40	86	15	71
5位	城後	美喜男	42	46	88	16	72

トーナメントデンタルゴルフ会

平成5年7月25日 (21名)

			O	I	G	H	N
優勝	三隅	房郎	47	48	95	24	71
2位	藤波	剛	52	47	99	26	73
3位	本田	治夫	51	45	96	19	77
4位	水野	完治	45	52	97	19	78
5位	井尾	治雄	47	52	99	21	78

平成5年8月14日 (14名)

優勝	寺田	紘宇	52	45	97	26	71
2位	寺島	美史	54	56	110	36	74
3位	奈良	健一	47	45	92	18	74
4位	篠原	威雄	51	47	98	22	76
5位	寺脇	博	51	45	96	19	77

平成5年9月23日 (26名)

優勝	寺田	紘宇	49	48	97	25	72
2位	青木	群育	47	51	98	22	76
3位	井尾	治雄	48	49	97	21	76
4位	内田	隆	42	45	87	10	77
5位	奈良	健一	49	46	95	18	77

平成5年度臨時總會資料

平成4年度 熊本市歯科医師会(一般会計)才入才出決算書

(H 5. 3. 31現在)

収入済額 40,308,651

支出済額 27,666,411

残 高 12,642,240

〈才入の部〉

款 項	費 目	予 算 額	収 入 済 額	未 収 入 額	備 考
1	会 費	12,819,476	13,517,231	△697,752	
1	均 等 割	3,004,000	3,197,000	△193,000	
2	保 険 診 療 負 担 金	9,815,479	10,320,231	△504,752	
2	寄 付 金	573,000	709,896	△136,896	
3	過 年 度 会 費	21,950	0	21,950	
4	預 金 利 子	11,490,462	11,484,671	5,791	
5	雑 収 入	791,443	1,195,487	△404,044	
6	前 年 度 繰 越 金	6,300,000	13,401,366	△7,101,366	
	計	31,996,334	40,308,651	△8,312,317	

〈才出の部〉

款 項	費 目	予 算 額	収 入 済 額	未 収 入 額	備 考
1	事 業 費	14,608,000	13,493,001	1,114,999	
1	学 術 費	2,550,000	2,503,234	46,766	
2	口 腔 衛 生 費	1,494,000	1,062,272	431,728	
3	社 会 保 険 費	690,000	584,369	105,631	
4	医 療 管 理 費	1,112,000	1,072,693	39,307	
5	広 報 費	2,976,000	2,778,996	197,004	
6	厚 生 費	3,000,000	2,823,200	176,800	
7	学 校 歯 科 費	1,249,000	1,127,729	121,271	
8	各 種 委 員 会 費	850,000	939,508	△89,508	
9	医 政 費	687,000	601,000	86,000	
2	事 務 費	7,769,755	6,117,555	1,652,200	
1	渉 外 費	865,000	743,935	121,065	
2	俸 給	1,494,000	1,494,000	0	
3	諸 給 与	1,221,755	1,106,007	115,748	
4	旅 費	713,000	407,332	305,668	
5	需 要 費	1,424,000	802,966	621,034	
6	事 務 所 費	72,000	72,000	0	
7	備 品 費	400,000	400,000	0	
8	雑 費	660,000	489,692	170,308	
9	委 託 費	100,000	125,763	△25,763	
10	使用料及び賃貸料	820,000	475,860	344,140	
3	会 議 費	4,232,000	4,227,710	4,290	
4	役 職 員 厚 生 費	985,000	938,145	46,855	
1	役 職 退 職 積 立 金	504,000	504,000	0	
2	職 員 退 職 積 立 金	1,000	0	1,000	
3	厚 生 費	480,000	434,145	45,855	
5	基 本 財 産 繰 入 金	2,000,000	2,000,000	0	
6	補 助 金 等 支 出	890,000	890,000	0	
1	在宅歯科保健推進事業補助金	890,000	890,000	0	
7	予 備 費	1,511,579	0	1,511,579	
	計	31,996,334	27,666,411	4,329,923	

平成4年度 熊本市歯科医師会(収益事業会計)才入才出決算書

(H5.3.31現在)

収入済額 9,242,963 支出済額 9,242,963 残高 0

〈才入の部〉

款	項	費 目	予 算 額	収 入 済 額	未 収 入 額	備 考
1		雑 収 入	8,995,000	9,242,963	△247,963	
	1	雑 入	8,990,000	9,238,127	△248,127	
	2	日専連手数料	5,000	4,836	164	
		計	8,995,000	9,242,963	△247,963	

〈才出の部〉

款	項	費 目	予 算 額	収 入 済 額	未 収 入 額	備 考
1		事 務 費	5,347,107	5,188,092	159,015	
	1	渉 外 費	380,000	398,734	△18,734	
	2	俸 給	1,275,600	1,275,600	0	
	3	諸 給 与	1,032,507	917,937	114,570	
	4	需 要 費	1,670,000	1,670,000	0	
	5	事 務 所 費	489,000	491,641	△2,641	
	6	雑 費	500,000	434,180	65,820	
2		会 議 費	1,083,000	1,297,816	△214,816	
3		職 員 厚 生 費	331,000	297,932	33,068	
	1	職員退職積立金	1,000	0	1,000	
	2	厚 生 費	330,000	297,932	32,068	
4		予 備 費	200,000	0	200,000	
5		租 税 公 課	669,450	824,040	△154,590	
6		寄 付 金	573,000	709,896	△136,896	
7		利 益 金	791,443	925,187	△133,744	
		計	8,995,000	9,242,963	△247,963	

平成4年度 熊本市歯科医師共済会計才入才出決算書

(H5. 3. 31現在)

収入済額 6,743,445 支出済額 996,650 残高 5,746,795

〈才入の部〉

費 目	調 定 額	収 入 済 額	未 収 入 額	備 考
共 済 会 負 担 金	3,503,000	3,083,000	420,000	
初 回 金	500,000	500,000	0	
預 金 利 子	52,000	16,365	35,635	
前 年 度 繰 越 金	1,800,000	3,144,080	△1,344,080	
計	5,855,000	6,743,445	△888,445	

〈才出の部〉

費 目	支 出 済 額
弔 慰 金 (本人)	500,000
(家族)	300,000
傷 病 見 舞 金	140,000
花 環 代	40,000
生 花 代	15,000
消 費 税	1,650
計	996,650

監 査 報 告 書

平成4度決算 (H5. 3. 31現在) の監査を施行し、立派に整理されていることを報告致します。

平成5年9月7日

監 事 山 室 紀 雄 ㊞

監 事 宇 都 宮 啓 一 ㊞

平成4年度 熊本市歯科医師会退職積立金会計才入才出決算書

(H5. 3. 31現在)

(役員)

収入済額 1,055,597 支出済額 0 残高 1,055,597

〈才入の部〉

費 目	調 定 額	収 入 済 額	備 考
役 員 退 職 積 立 金	504,000	504,000	
預 金 利 子	2,748	2,748	
前 年 度 繰 越 金	548,849	548,849	
計	1,055,597	1,055,597	

(職員)

収入済額 4,625,906 支出済額 0 残高 4,625,906

〈才入の部〉

費 目	調 定 額	収 入 済 額	備 考
役 員 退 職 積 立 金	0	0	
預 金 利 子	120,733	120,733	
前 年 度 繰 越 金	4,505,173	4,505,173	
計	4,625,906	4,625,906	

〈才出の部〉

費 目	支 出 済 額	備 考
普 通 預 金		
定 期 預 金		
計		

〈保管区分〉

預 金 名	金 額	銀 行 名	備 考
普 通 預 金	1,487,427	第 一 信 用 金 庫	ㇿ0084427
定 期 預 金	1,008,000	〃	ㇿ0080819
〃	3,186,076	〃	ㇿ0169697

平成4年度 熊本市歯科医師会基本財産積立金会計

(H5. 3. 31現在)

平成4年度 入会金よりの一部繰入金 ⇨ 0円

昭和53年度～平成3年度 191,946,246円
 平成4年度末総計 265,165,710円
 6 22

平成4年度 熊本市歯科医師会入会金会計決算書

(H5. 3. 31現在)

平成4年度入会金 36,000,000円
 平成4年度基本財産積立金会計へ 0円
 平成4年度末入会金会計残高 36,438,129円
 (入会金 36,000,000円
 利息分 438,129円)

平成4年度 在宅歯科保健推進事業(別途会計) 才入才出決算書

収入済額 12,626,783 支出済額 11,869,758 残高 757,025

〈才 入〉

	費 目	累 計	備 考
1	委 託 料	11,728,610	検診料、事務費
2	補 助 金	890,000	市歯会より
3	利 息	8,173	上・下期分利息
	計	12,626,783	

〈才 出〉

	費 目	累 計	備 考
1	委 託 料	10,466,800	
	1 協 力 歯 科 医	7,560,000	H3年度繰越金含む(1,480,000)
	2 衛 生 士 会	2,906,800	
2	需 要 費	1,402,958	事務費、備品購入費、会務費
	計	11,869,758	

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 会
8月20日	第60回理事会（会務報告、協議）
9月24日	第61回理事会（会務報告、委員会報告、協議）
10月20日	第62回理事会（会務報告、協議）

社 保 委 員 会

月 日	協 議 会
8月6日	郡市社保担当者会議の内容について 保険シリーズⅢの検討について ビデオ研修会について
9月1日	保険シリーズⅢの検討 新入会員の社保説明会について
10月5日	保険シリーズⅣ（有床義歯）の作製検討 新入会員社保説明会について

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 会
8月6日	第1回ゴルフ大会について
8月31日	親睦ゴルフ大会について
9月7日	ゴルフ大会最終チェック
9月21日	ゴルフ大会の反省
10月19日	健康診断の反省 新年パーティーについて

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 会
7月27日	熊本県学校保健研究協議大会について 10/29・30（水俣にて） 全国学校保健研究大会について 11/11 11/12
8月28日	熊本市健康フェアについて協議 歯ミガキ巡回指導について（10/26、27、28）
9月28日	歯ミガキ巡回指導日程 打ち合わせ
10月25日	歯ミガキ巡回指導日程 打ち合わせ 体育保健課ならびライオン歯科衛生研究会

口腔衛生委員会

月 日	協 議 会
8月17日	10月23・24日の健康フェスティバルについて
9月21日	来年度、衛生週間行事について

医療管理委員会

月 日	協 議 会
7月28日	就業規則等小冊子の内容検討 産業廃棄物について
8月25日	感染性廃棄物の許可業者について 就業規則マニュアル作製についての検討
9月17日	就業規則マニュアルについて 急病時代診派遣制度について
10月22日	三歯会、広報と10/26打合せ 国民健康保険制度推進月間（熊本市） 歯科相談出務について（11月15日～11月19日） 救急蘇生法実習会について 就業規則マニュアルについて検討 平成6年度（税務）カレンダーについて

広 報 委 員 会

月 日	協 議 会
7月27日	中岳82号 第1回校正 かわら版 8月号 編集
8月5日	かわら版 8月号校正
8月10日	中岳82号第2回校正
8月24日	中岳83号編集会議 かわら版 9月号編集
9月7日	中岳82号反省 かわら版 9月号校正
9月28日	中岳83号原稿チェック、編集 かわら版10月号編集 熊本市歯科医師会会員配置図の設置
10月4日	かわら版10月号校正
10月27日	かわら版11月号編集 中岳83号第1回校正

学 術 委 員 会

月 日	協 議 会
8月5日	ビデオ研修会「開業医にできる顎関節症の対応」の担当確認 熊本市歯科医師会のシンポジウム（H6. 3. 13）の末次教授への依頼
9月7日	熊大菅原先生の慢性関節リウマチ、白血病についての講演の検討

その他の委員会

訪問歯科診療実施部会

- 7月7日 事業報告
- 症例紹介
- Careの実施について
- 雇用契約書
- 衛生士の指導について
- 社保の説明
- 長寿の里

歯科会務総合検討臨時委員会

- 8月11日 会員の訂正について
- ポスター
- 在宅寝たきりポスター
- 健康診断ポスター
- 新入会員オリエンテーションの会次第について
- 9月22日 本会年誌、年表について
- 歴代会長の写真について
- 年間行事予定表について



編集後記

私の日課の一つに、くわえタバコでビール片手に「ニュースステーション」「筑紫哲也ニュース23」を見ることがあります。ふだんあまりテレビを見ない私ですが、納税義務者となり10年程たった近頃、社会情勢が気になり、寝る前にはかかさずこの日課を続けています。その中で連日のように報じられる政治関係のニュースに開いた口がふさがらないのは、きっと私だけに限ったことではないでしょう。

個人の利益が優先するあまり、なかなか政治問題も解決には向かわず、新たな問題を生じ収集がつかない有様です。いくらすぐれた規制、法律ができたとしても政治をガラス張りにして、もっとくわしい情報を公開しなければ、政治腐敗を食い止めることはまず不可能ではないでしょうか。

だれしも自分の利益を優先する気持ちはあるもの。もし、大幅な情報が公開されるとすれば自己中心的な言動は差し控えられ、第三者の評価をああぐことができるのではないのでしょうか。情報公開は自己中心的なあやまった言動を自主的に防ぎ、物事の表裏をあまり知らない我々にとっては良き判断材料となることでしょう。

広報委員会にお世話になりまだ日の浅い私ですが、広報のあり方について少しずつ理解を深めてきたような気がします。広報は情報伝達だけでなく、情報公開にも努力するべきです。情報が先行して問題を投げかけ、それに従って物事が変わっていくこともありうるからです。

何事も理解したつもりになって、今日もくわえタバコでビールを飲み続ける私です。

(H・K)

熊本市歯科医師会会誌

第 83 号

発行日 平成 5 年 11 月 25 日 発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井 2 丁目 3 番 6 号

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発 行 中 根 俊 吾
責任者

印刷所 株式会社 白 瀬

熊本県菊池郡西合志町須屋 1927-1 番地

TEL 096-346-1515 FAX 096-343-3303